

RCC FORUM

No. 39



(ふるや・やすお)

1926年上海生まれ。

自由学園、東京神学大学を卒業のあと、サンフランシスコ・プリンストン神学校、チュービンゲン大学に留学。

1959年(昭34)以来40年間、国際基督教大学で教育と伝道に従事。この間、アテネオ・デ・マニラ大学とプリンストン神学校の客員教授、東神大と東大の講師。

現在は聖学院大学大学院教授。

著書には、『基督教国アメリカ』、『宗教の神学』、『日本の神学』、『大学の神学』、『日本の基督教』、『神の国と基督教』など多数。

宣教「150周年」を 迎えるに際して —どうしたら1%をこえられるか—

古屋安雄氏

(聖学院大学大学院教授)

●日時:2008年11月21日(金)

第4時限(15:10~16:40)

●会場:関西学院会館ベーツチャペル

—どなたでも聴講できます—

●講演内容

基督教人口が日本人口の1%をこえられない最大の理由は、プロテスタント・基督教をまず受容したのが、武士階級の青年であったからではないか。そのために知的な基督教となり、また軍部に妥協した国粹的な基督教となったのではないか。

そして、最近では学生が来ない教会になったのではないか。今の学生は観念的ではなく経験的であり、頭だけではなく心の救いを求めているのではないか。